

# IT部門成熟度診断サービス

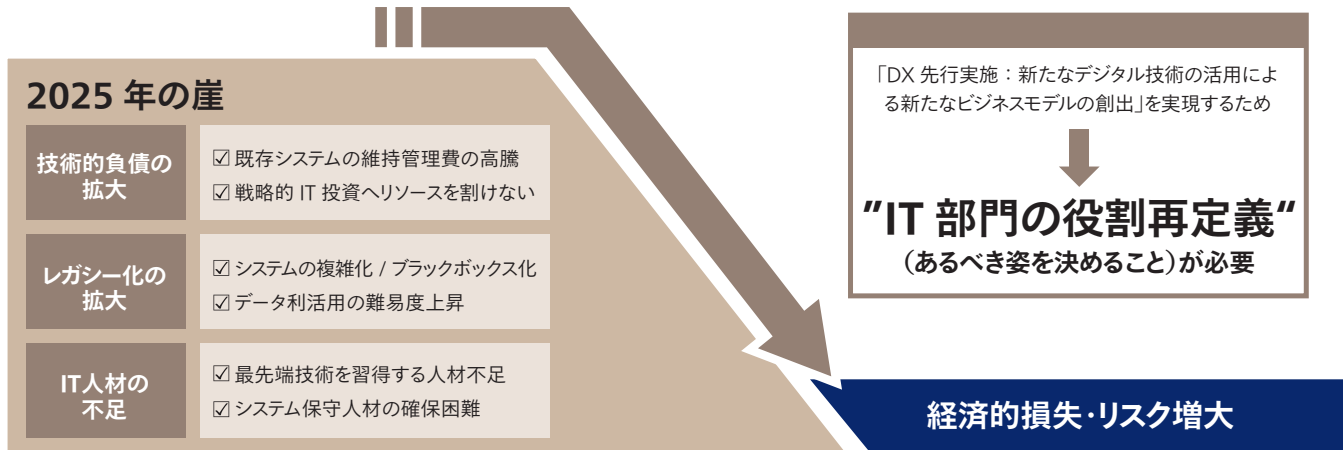
デジタル時代を生き抜くIT部門への変革に向けて

デジタル時代における企業の成長や競争優位性確保のためには「デジタル・トランスフォーメーション (DX)」を推進することが求められています。その取り組みにおいては、企業が抱える様々なITの課題を解決する必要があり、IT部門の担う役割が重要になっていきます。

アビームコンサルティングでは、IT部門成熟度診断サービスを通してIT部門の現状を把握した上で、次世代のIT部門のあるべき姿とそれを実現するためのロードマップを描き、企業のビジネス目標達成に貢献するIT部門への変革を支援します。

## 2025年の崖

経済産業省が2018年に発表した「DXレポート」の中で、「技術的負債の拡大」「レガシー化の拡大」「IT人材の不足」の問題が提起されました。それらに対して対策を講じない場合、経済的損失の発生やサイバーセキュリティ、事故・災害によるシステムトラブルやデータ滅失等のリスクが高まると言われています。



経済産業省「DXレポート」をもとに、アビームコンサルティングが作成

## デジタル時代を生き抜くIT部門への変革に向けて

“デジタル技術の活用による新たなビジネスモデルの創出”を実現するためには、企業が抱える様々なIT課題を解消していくとともに、ビジネスやテクノロジーの変化に追従するIT基盤や、ビジネスニーズを速やかにITで具現化できるIT組織・体制の整備など、“IT部門の役割を再定義”しITマネジメントを強化していくことが鍵だと当社は考えます。

### “IT部門の役割再定義”の必要性

システム	現行ビジネスの維持運用に費用が掛けられており、戦略的なIT投資ができていない
組織・体制	既存システム維持に特化したIT体制のため、ビジネス部門と連携したデジタル戦略実現組織への変革が必要
人材	IT部門業務が開発・保守中心であり、ビジネスへより直接的な貢献ができる人材が不足している

### 当社が考えるIT部門の取り組むべき方向性

<p>▶ 全社最適となるシステム構成の企画、不要資産の断捨離、重点投資領域の見極め (AI活用、データ活用の取り込み)</p>
<p>▶ 開発・保守中心からIT戦略・企画・管理中心へ役割シフト (CDO、デジタルアーキテクト、データサイエンティストなど新たな役割シフト)</p>
<p>▶ 将来を見据えた人材の育成や確保 (アジャイル開発の実践、産学の連携など)</p>

## アビームコンサルティングの提供価値

アビームコンサルティングでは、当社が持つ豊富な業界ナレッジやフレームワーク、数多くのクライアントへのコンサルティング実績で蓄積した知見を活用し、貴社IT部門の成熟度を診断します。

成熟度の診断に留まらず、貴社の状況や意向を踏まえIT部門のあるべき姿(役割再定義)を定めた上で、システム/組織・体制/人材等のIT部門課題への対応策とロードマップを、約1~2ヶ月程度の短期間で策定します。

## サービスアプローチ

成熟度診断、あるべき姿・施策対応、計画策定、の3Stepで実施いたします。

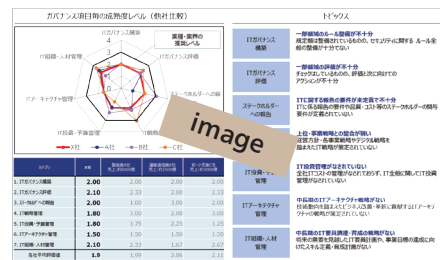
### Step1: 成熟度診断

当社保有の診断シートを利用し、関連資料の確認、アンケート調査・ヒアリングを実施します。ベンチマーク、COBITなど各種基準を踏まえ、貴社IT部門の成熟度を算出します。

【IT調査シート・IT状況調査シート】

カテゴリ	項目	コントロール内容	ITコントロール成熟度			
			レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
1. 経営戦略	IT戦略	IT戦略が経営戦略の重要な要素として位置づけられ、経営戦略の達成に貢献している。	IT戦略が経営戦略の重要な要素として位置づけられている。	IT戦略が経営戦略の重要な要素として位置づけられている。	IT戦略が経営戦略の重要な要素として位置づけられている。	IT戦略が経営戦略の重要な要素として位置づけられている。
	ITロードマップ	ITロードマップが経営戦略の達成に貢献している。	ITロードマップが経営戦略の達成に貢献している。	ITロードマップが経営戦略の達成に貢献している。	ITロードマップが経営戦略の達成に貢献している。	ITロードマップが経営戦略の達成に貢献している。
2. 組織・体制	IT部門の組織	IT部門の組織が経営戦略の達成に貢献している。	IT部門の組織が経営戦略の達成に貢献している。	IT部門の組織が経営戦略の達成に貢献している。	IT部門の組織が経営戦略の達成に貢献している。	IT部門の組織が経営戦略の達成に貢献している。
	IT部門の体制	IT部門の体制が経営戦略の達成に貢献している。	IT部門の体制が経営戦略の達成に貢献している。	IT部門の体制が経営戦略の達成に貢献している。	IT部門の体制が経営戦略の達成に貢献している。	IT部門の体制が経営戦略の達成に貢献している。
3. 人材	IT人材の確保	IT人材の確保が経営戦略の達成に貢献している。	IT人材の確保が経営戦略の達成に貢献している。	IT人材の確保が経営戦略の達成に貢献している。	IT人材の確保が経営戦略の達成に貢献している。	IT人材の確保が経営戦略の達成に貢献している。
	IT人材の育成	IT人材の育成が経営戦略の達成に貢献している。	IT人材の育成が経営戦略の達成に貢献している。	IT人材の育成が経営戦略の達成に貢献している。	IT人材の育成が経営戦略の達成に貢献している。	IT人材の育成が経営戦略の達成に貢献している。
4. システム	システム開発	システム開発が経営戦略の達成に貢献している。	システム開発が経営戦略の達成に貢献している。	システム開発が経営戦略の達成に貢献している。	システム開発が経営戦略の達成に貢献している。	システム開発が経営戦略の達成に貢献している。
	システム運用	システム運用が経営戦略の達成に貢献している。	システム運用が経営戦略の達成に貢献している。	システム運用が経営戦略の達成に貢献している。	システム運用が経営戦略の達成に貢献している。	システム運用が経営戦略の達成に貢献している。

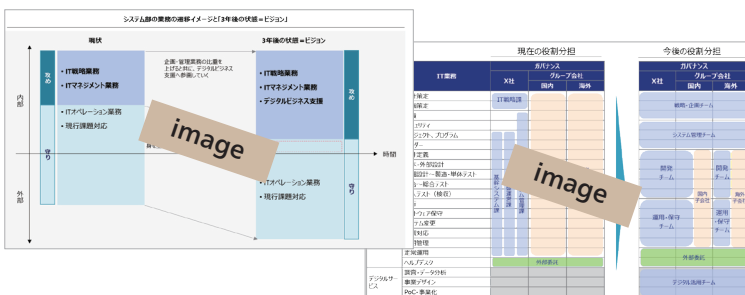
【成熟度の評価】



### Step2: あるべき姿・施策検討

成熟度診断結果やヒアリングを通して「システム」「組織・体制」「人材」に関するIT部門の役割再定義の観点で調査結果を分析し、課題を抽出します。課題と貴社の意向を踏まえてIT部門のあるべき姿を描き、その実現に向けた課題への対応を、短期/長期施策として導出します。

【あるべき組織像】



【課題一覧・施策一覧】

課題ID	課題名	優先度	対応策	担当者	進捗状況
A1	経営戦略とIT戦略の連携	高	経営戦略とIT戦略の連携を強化する。	山田	完了
A2	IT部門の組織再編	中	IT部門の組織を再編する。	山田	完了
A3	IT人材の確保	高	IT人材の確保を強化する。	山田	完了
A4	ITシステムの刷新	中	ITシステムの刷新を進める。	山田	完了
A5	ITリスクの軽減	高	ITリスクの軽減を強化する。	山田	完了

### Step3: 計画策定

各施策の達成する時期を明確にして、マイルストーンを決定します。マイルストーンを基にロードマップを作成し、既に計画されている取り組みとの整合性の確認、実現性等を精査して最終化します。

【マイルストーン決定】



【ロードマップ】

領域	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
経営戦略	経営戦略の策定	経営戦略の策定	経営戦略の策定	経営戦略の策定	経営戦略の策定
組織・体制	組織再編の実施	組織再編の実施	組織再編の実施	組織再編の実施	組織再編の実施
人材	IT人材の確保	IT人材の確保	IT人材の確保	IT人材の確保	IT人材の確保
システム	システム刷新の実施	システム刷新の実施	システム刷新の実施	システム刷新の実施	システム刷新の実施